

# Pastel Paranoia: マスヨミの 「報道しない自由」を暴くワンビジュアル戦略



辺野古「平和丸」転覆事故はいかにして隠されたのか。  
SNS世代に向けた風刺的サムネイルの構築プロセス。

# The Core Synthesis: フィルターにかけられた真実

平和丸転覆事故

日本共産党の関与

CENSORED

無許可営業

## マスコミのフィルター

ソースマテリアルから抽出した最重要インサイトは「事故の悲惨さ」ではなく、「マスコミのダブルスタンダード(報道しない自由)」にあります。サムネイルのメッセージはこの一点に完全に絞り込みます。

### 知床観光船事故

### 連日過熱報道

### 企業への徹底追及

### 報道の闇

# Diagnostic Comparison:

## 異常な温度差

知床事故

辺野古沖・平和丸事故



叩いても安全な民間企業

- 連日の過熱取材
- 徹底的な責任追及



思想的背景を持つ団体

- 「……(完全スルー)」
- だんまりと黙殺

# The Anatomy of Hypocrisy: 逆転する人権保護



利益のためには被害者の人権を蹂躪し、  
特定の政治団体に属する加害者は匿名のまま保護する。  
この矛盾こそが、サムネイルで表現すべき「闇」の正体です。

# The “Peaceful” Boat’s Reality: 隠蔽された安全管理の崩壊

生徒たちを「平和学習」と騙して抗議船に乗せ、違法操業状態で海へ放り出した。  
この事実をマスコミは徹底的に矮小化しました。



波浪注意報発令中。海上保安庁のメガホン警告を無視して出航強行。



運輸局無登録の「海の白タク（無許可営業）」。



救命胴衣の着用指導・安全管理規程が一切存在せず。



転覆後、118番通報（救助要請）をしたのは船長でも引率教員でもなく、海に投げ出された「生徒たち」。

# The Power of Primary Sources: 遺族のnoteがデマを砕く



朝日新聞の  
謝罪と記事訂正

note:  
遺族による真実の発信

情報はコントロールされている。  
騙されないためには、SNSの一次情報と  
遺族の告発(note)を自ら確認しなければならない。



# Character & Metaphor Design: コミカルな隠蔽

Exaggerated Panic & Sweat:  
焦燥感

Floating Escape Attempt:  
浮足立った逃走



Feigned Innocence:  
口笛

Desperate Cover-up:  
必死の隠蔽工作

悲惨な事故自体を茶化すのではなく、「焦って隠蔽工作をする権力/メディア」を風刺的に可愛く描くことで、System-1（直感）に刺さる強烈なアイロニーを生み出します。

# Typographic Hierarchy: 言葉の暴力性をコントロールする

**なぜ隠す!?!?**

**マスコミの闇**

メタ情報や細かな説明文は一切描写禁止。読者の脳に強制的に飛び込むキーワードのみを「超特大・太字」で配置し、文字自体を一つのポップアートとして機能させます。

# The Final Thumbnail Masterpiece: 完全刷新仕様書



権利侵害リスク完全回避 / ノイズ・歪みゼロの8K相当の超高精細。前回の出力パターンは完全に破壊し、ゼロベースで再構築。